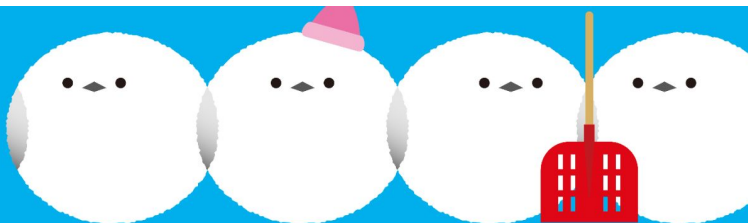


ゆきのこと、
みんなで、
もっとはなそう。



SAPPORO

札幌市「持続可能な雪対策の実現に向けたアンケート」調査票

札幌の冬の暮らしに欠かせない雪対策は、人口減少による将来的な除雪従事者の担い手不足や、物価高騰等による雪対策費用の増加といった課題があります。

安全安心な冬の暮らしを将来も支えていくためには、今のうちからこれら課題への対応を検討する必要があります。

札幌市ではこれまで、有識者や除雪従事者、市民委員などで構成される「雪対策審議会」や市民ワークショップを開催するなど様々な議論・検討を行ってきました。

本アンケートは、札幌の冬の生活には欠かせない雪対策を多くの皆さんと一緒に考えていくために実施するものです。

ぜひ、皆さんの声をお聞かせください。ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

雪対策を取り巻く課題や札幌市の検討状況をまとめたページを作成しました。アンケートご回答前にぜひご覧ください。

(まとめページ)



また、同様の内容について、広報さっぽろ6月号「みんなで考える、冬のさっぽろ」でもまとめておりますので、ぜひご覧ください。

● 記入の方法

ご使用いただく筆記用具はどのようなものでも構いません。

ご回答は、当てはまる番号に○印をつけるか、具体的な内容をご記入ください。

● プライバシーの保護について

この調査は、無記名でご回答いただくものであり、個人的な内容が明らかになることはありません。

● 調査票の回答方法

アンケート調査票にご記入の上、令和8年6月30日（火）（17時15分必着）までに、ご持参又はご郵送にて下記提出先までご提出ください。

【提出・問い合わせ先】

札幌市 まちづくり政策局 政策企画部 未来創生担当課 人口減少対策担当係

住 所 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 市役所本庁舎5階

電 話 011-211-2338

※ なお、このアンケートは、ウェブフォームにてご回答いただくことも可能です。ウェブでの回答の方は、「雪対策アンケート」とご検索いただくか、右記バーコードからアクセスし、期限までにご回答ください。

(回答フォーム)



問1 持続可能な雪対策に関する考え(全6問)

1-1 将来の除雪従事者の担い手不足への対応として、市はどのように対応すべきと考えますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 デジタル技術の導入などにより、作業の効率化や省力化を図るべき
- 2 交通量や道路の役割などを踏まえ、作業量の縮減を図るべき
- 3 作業日数がかかっても、作業量を維持する方法を検討するべき
- 4 除雪従事者の労働環境の改善や担い手確保のための支援・育成を行うべき
- 5 その他(具体的に: _____)

1-2 持続可能な雪対策予算のあり方として、市はどのように対応すべきと考えますか。

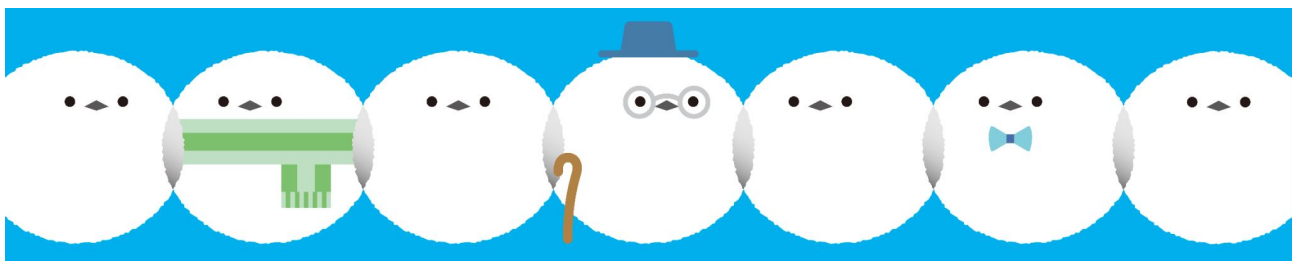
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 作業の効率化や省力化により、コスト縮減を図るべき
- 2 除排雪の作業量を縮減して、コスト縮減を図るべき
- 3 他の予算を削減しても、現在の体制の維持に必要な雪対策予算は確保すべき
- 4 その他(具体的に: _____)

1-3 持続可能な雪対策に向けた市民や企業の関わり方についてあなたはどうかあるべきだと思いますか。

あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 積極的に協力すべき
- 2 無理のない範囲で協力すべき
- 3 雪対策は行政がやるべきものであり市民や企業の協力は必要ない



(1-3で「協力すべき」と答えた方にお聞きします)

1-4 市民や企業ができると考えられる対応は何ですか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



- 1 除雪作業で自宅前の歩道などに寄せられた雪を処理する
- 2 時間にゆとりをもつなど、気象に合わせて行動する
- 3 道路への雪出しや除雪作業の妨げとなる路上駐車をしない
- 4 隣家の雪かきや福祉除雪への参加などのボランティア活動を行う
- 5 つるつる路面への砂まき
- 6 気象に合わせた柔軟な働き方の推進
- 7 大雪時などに出勤抑制を実施するためのルールづくり
- 8 その他(具体的に:)

1-5 札幌市雪対策審議会を設置して、持続可能な雪対策のあり方についての検討を進めていることを知っていますか。

あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っている | 2 知らなかった |
|---------|----------|

(1-5で「知っている」と答えた方にお聞きします)

1-6 どこで知りましたか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 新聞・テレビ
- 2 SNS広告・投稿(Instagram/X/Facebook/TikTok/LINEなど)
- 3 インターネット検索 (Google/Yahoo!など)
- 4 広報さっぽろ
- 5 市公式SNS(Instagram/X/LINE)
- 6 市公式ホームページ
- 7 町内会の回覧
- 8 その他(具体的に:)

問2 昨冬の大雪の対応(全5問)

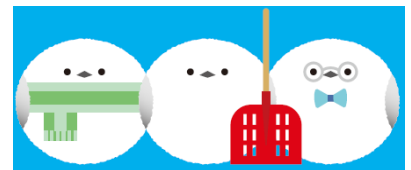
2-1 令和8年1月下旬の大雪の際に、あなたがとった行動は何ですか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 不要不急の外出を控えた
- 2 車による外出を控えた
- 3 通勤・通学時に出発時間を早めるなど時間に余裕を持った行動をとった
- 4 時差出勤、在宅勤務、オンライン授業など、勤務や授業の形態を変えた
- 5 地域で協力して除雪作業などを行った
- 6 特に普段と違う行動はとらなかった

2-2 今後、今回(令和8年1月下旬)のような大雪となった際、どのような行動をとるべきだと考えますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



- 1 不要不急の外出を控える
- 2 車による外出を控える
- 3 通勤・通学時に出発時間を早めるなど時間に余裕を持った行動をとる
- 4 時差出勤、在宅勤務、オンライン授業など、勤務や授業の形態を変える
- 5 地域で協力して除雪作業などを行う
- 6 特に普段と違う行動はとる必要はない

2-3 大雪時などに行動を変えるためにはどのような情報や仕組みが必要ですか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 正確な気象予報の情報
- 2 除排雪作業の予定や実施状況などの情報
- 3 バスや鉄道などの運休情報
- 4 市民に外出を控えるなどの行動変容を促す、市からの情報
- 5 企業における出勤抑制を実施するための仕組み
- 6 今の情報で足りている

2-4 令和8年1月下旬の大雪を踏まえ、市が実施した「生活道路の緊急排雪」後の家の前の道路状況として、車両通行や歩行に支障はありましたか。

あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 全く支障はなかった
- 2 大きな支障はなかった
- 3 少し支障があった
- 4 大きな支障があった
- 5 その他(具体的に:)

(2-4で「支障があった」と答えた方にお聞きします)

2-5 どのような支障がありましたか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 通行幅が狭く、安全に車両の通行ができなかった
- 2 路面状況が悪く、車両が抜け出せなくなった
- 3 車両の左右の雪山が高く、見通しが確保できなかった
- 4 歩行に支障があった
- 5 その他(具体的に:)



問3 生活道路の除排雪に関する考え(2問)

3-1 生活道路については、市が除雪作業によって通行環境を確保し、冬季生活環境の向上を望む地域は行政と費用を負担し合いながらパートナーシップ排雪などの排雪支援制度を実施してきました。現在、市では除排雪の市民ニーズが高い生活道路において、持続可能かつ公平な除排雪を実現するため、作業可能な全ての生活道路を対象として排雪作業を行う場合にはどのような作業が可能か検討しています。この検討にあたって重要と考えるものは何ですか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 排雪作業の公平性の確保(公共排雪への移行)
- 2 従来制度のような地域の自主性の確保(パートナーシップ排雪などの制度継続)
- 3 地域の費用負担の改善
- 4 作業後の車両や歩行者の通行環境
- 5 その他(具体的に:)

3-2 作業可能な全ての生活道路の排雪を公共で行う場合には、市の財政負担の増加が見込まれます。その対応としてあなたが重要と考えるものは何ですか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 財政負担の増加を抑制する、効率的な作業方法の検討
- 2 財政負担の増加を抑制する、除排雪水準の設定
- 3 財政負担の増加に応じて、市民負担を求める仕組みづくり
- 4 その他(具体的に:)

<参考(検討中の作業方法)>

①地域の費用負担感や不公平感の解消

- ・パートナーシップ排雪のような地域支払額や申請手続きは不要
- ・これまで排雪が行われていなかった地域も含めた対応

②除排雪作業の効率化

- ・行政主体で作業工程を決定し、町内会毎ではなく、道路毎などで排雪作業を実施

③シーズンを通した冬季道路環境の確保

- ・排雪作業の開始を1月中旬頃に前倒し、気象状況に応じて臨機な作業を実施
- ・排雪作業と路面整正と組み合わせて、ザクザク路面を軽減

問4 あなたご自身のことについてお尋ねします。
あてはまるものに○をつけてください。

あなたの年齢について

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 18歳未満 | 2 18～19歳 | 3 20～29歳 |
| 4 30～39歳 | 5 40～49歳 | 6 50～59歳 |
| 7 60～69歳 | 8 70～74歳 | 9 75歳以上 |

あなたのお住まい(区)について

- | | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 1 中央区 | 2 北 区 | 3 東 区 | 4 白石区 |
| 5 厚別区 | 6 豊平区 | 7 清田区 | 8 南 区 |
| 9 西 区 | 10 手稲区 | 11 市 外 | |

あなたのご職業について(もっとも近いもの1つに○をつけてください)

- | | | | |
|---------|-------|-------|-------------|
| 1 会社員 | 2 公務員 | 3 自営業 | 4 パート・アルバイト |
| 5 主婦・主夫 | 6 学 生 | 7 無 職 | 8 その他 |

居住形態について

- | | | |
|------------------|--------------|------------|
| 1 持ち家(一戸建て) | 2 持ち家(マンション) | 3 賃貸(一戸建て) |
| 4 賃貸(マンション・アパート) | 5 その他 | |

車の利用について

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 主に自家用車を利用している | 2 主にレンタカー等を利用している |
| 3 利用する機会はほとんどない | 4 その他 |

冬の主な交通手段について(利用頻度の高いものを3つまで○をつけてください)

- | | | | | |
|--------|---------------|------|------|------|
| 1 車 | 2 地下鉄 | 3 バス | 4 JR | 5 市電 |
| 6 徒歩 | 7 その他(具体的に:) | | | |
| 8 特にない | | | | |

調査は以上で終了です。ご多用の折、ご協力いただき誠にありがとうございます。
記入いただいた調査票は、令和8年6月30日(火)(17時15分必着)までに、
ご持参又はご郵送にてご提出ください。